

地理空間情報アプリ「mapry」を活用した業務の効率化に関する現地検討会



令和4年11月7日(月)に地理空間情報アプリ「mapry」を活用した業務の効率化に関する現地検討会を大谷国有林で実施しました。

林業の現場業務は厳しい自然条件下での人力作業が多いといった特性があり、このことが低い生産性や安全性の一因となっています。これを改善するため、新技術を積極的に活用し、森林管理や林業の効率化等を図り、先端技術を現場レベルで活用し「スマート林業」を実践することを目的としています。具体的には、モバイル端末等を利用し、地理空間情報アプリ「mapry」を活用して、業務の効率化・省力化ができるのかを技術検証し、現場業務に普及できるのかを検証することとしました。

(株)マプリーの担当者に来ていただき、アプリ「mapry」の基本操作、機能等の説明をしていただきました。



はい積検知



タブレット端末による検知

境界確認



タブレット端末による境界標AR確認

標準地調査



タブレット端末による
周囲測量



タブレット端末による
胸高直径計測



タブレット端末による
樹高測定